

高齢者施設と新型コロナウイルス 集団感染予防のために、知っておきたいこと

必ず守るべき3原則

具合が悪い時は出勤しない

発熱や咳などの症状があった時は、症状がなくなって48時間を経過するまで出勤しない。

3密を避ける

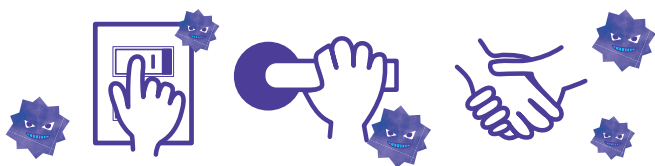
3密（密閉・密集・密接）にならないように工夫する。声を出す場所、食事をする場所は特に。

こまめに手洗いをする

出勤時に。高齢者に接する前に。食事の前に。トイレ後に。汚染物に触れた後に。帰宅後に。

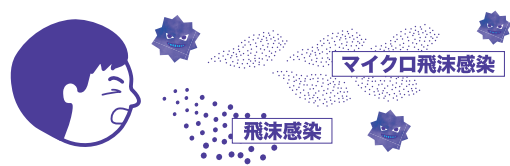
ウイルスの感染経路

接触感染



ウイルスが付着したモノや場所に触れた手で顔を触り、鼻やのどから感染する。

飛沫感染・マイクロ飛沫感染



飛沫に含まれるウイルスを吸い込み感染する。飛沫の一部は小さな粒子（マイクロ飛沫）になって空中を漂い、より遠くまで広がる。

予防するには

予防するには



せっけんと流水で 手を洗う

30秒くらいかけて洗い、よく拭き取って乾かす。指先、親指、指の間、手首などは特に念入りに。タオルは使いまわさない。

または



アルコール製剤で 手を洗う

手指全体が乾くまでまんべんなく擦り込む。1回量の目安は3ml。目に見える汚れは、せっけん和流水で洗い落とす。

高齢者に接する時は 必ずマスクをつける



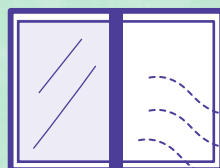
鼻と口をしっかりと覆う。マスクの外側を触らない。布マスクは毎日洗濯する。

向かい合わずに 介助する



マスクを着用できない高齢者と接する時は、向かい合わずに介助できる方法を選ぶ。

定期的に換気する



1時間に1~2回程度、換気して外気を取り込む。建物の換気設備が十分に稼働しているか確認する。



介護衣を 清潔に保つ

エプロンなど介護衣の前面を触らない。汚染物の処理後は、交換する。毎日、洗濯して清潔に。



よく触る場所を 消毒する

ひんばんに手で触る場所を界面活性剤入り清掃用具で1日1回以上、清拭消毒をする。地域で流行したら回数を増やす。

高齢者施設で、新型コロナウイルス感染予防のために私たちができること

高齢者施設と新型コロナウイルス 集団感染予防のために、知っておきたいこと

必ず守るべき3原則

具合が悪い時は出勤しない

発熱や咳などの症状があった時は、症状がなくなって48時間を経過するまで出勤しない。

3密を避ける

3密（密閉・密集・密接）にならないように工夫する。声を出す場所、食事をする場所は特に。

こまめに手洗いをする

出勤時に。高齢者に接する前に。食事の前に。トイレ後に。汚染物に触れた後に。帰宅後に。

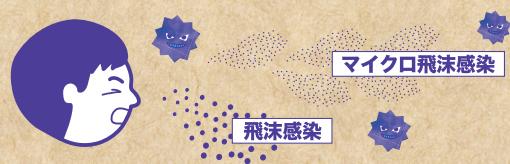
ウイルスの感染経路

接触感染



ウイルスが付着したモノや場所に触れた手で顔を触り、鼻やのどから感染する。

飛沫感染・マイクロ飛沫感染



飛沫に含まれるウイルスを吸い込み感染する。飛沫の一部は小さな粒子（マイクロ飛沫）になって空中を漂い、より遠くまで広がる。

予防するには

予防するには



せっけんと流水で 手を洗う

30秒くらいかけて洗い、よく拭き取って乾かす。指先、親指、指の間、手首などは特に念入りに。タオルは使いまわさない。

または



アルコール製剤で 手を洗う

手指全体が乾くまでまんべんなく擦り込む。1回量の目安は3ml。目に見える汚れは、せっけん和流水で洗い落とす。



高齢者に接する時は 必ずマスクをつける

鼻と口をしっかりと覆う。マスクの外側を触らない。布マスクは毎日洗濯する。



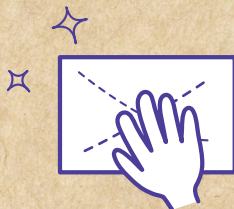
向かい合わずに 介助する

マスクを着用できない高齢者と接する時は、向かい合わずに介助できる方法を選ぶ。



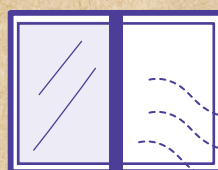
介護衣を 清潔に保つ

エプロンなど介護衣の前面を触らない。汚染物の処理後は、交換する。毎日、洗濯して清潔に。



よく触る場所を 消毒する

ひんぱんに手で触る場所を界面活性剤入り清掃用具で1日1回以上、清拭消毒をする。地域で流行したら回数を増やす。



定期的に換気する

1時間に1~2回程度、換気して外気を取り込む。建物の換気設備が十分に稼働しているか確認する。

高齢者施設で、新型コロナウイルス感染予防のために私たちができること